ART MEETS CARE 2009 TOKYO

記憶の居場所

アートミーツケア学会2009年度総会・大会

アートとケアの出会うところ。世代と時代を超えて人々が出会うところ。さまざまな交わりの境界では、身体の、家族の、地域の記憶が生き生きと働きだす。現代社会における「記憶の居場所」をめぐって、アートとケアが交わる場やコミュニティについて、みなさまとともに考えてみたいと思います。分科会は、キャンパス周辺の各会場で開催。昭和の記憶が色濃く残るまちの雰囲気も、あわせてお楽しみください。

2009年12月5日(土)、6日(日)

会場：慶應義塾大学三田キャンパスおよび周辺地域

[メイン会場／受付]　慶應義塾大学三田キャンパス 東館6階G-secラボ

[分科会会場]　会場地図は中面をご覧ください。

三田の家　芝の家　芝コミュニティはうす

慶應義塾と港区は、2008年10月、連携協力に関する協定を結び、「芝の家」(昭和の地域力再発見事業拠点)をはじめ、研究、教育、まちづくりなど様々な領域で、大学と地域社会の融合した取り組みを進めています。

主催：アートミーツケア学会　共催：慶應義塾大学、三田の家
協力：芝の家、日本ボランティア学会、北四国町会、芝寿会　後援：港区芝地区総合支所

■基調講演
石内都(写真家)
「記憶の居場所」
12月5日(土)13:45～

■ダイアローグ
鷲田清一 × 熊倉敬聡
「アートのなかの生活、生活のなかのアート」
12月6日(日)14:15～

©Miyako Ishiuchi "1906 to the skin" #39 1991～1993

プログラム

12月5日（土）

メイン会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階G-secラボ
分科会会場　：三田の家、芝の家、芝コミュニティはうす

12:30〜13:30　開場／受付

13:30〜13:45　開会／挨拶　岡原正幸　（慶應義塾大学文学部教授）

13:45〜15:00　基調講演　**「記憶の居場所」　石内都　（写真家）**

喪失や悲しみ、生と死の営み、そして個人の記憶を普遍的なものにする写真。風景や身体の軌跡、女性、傷、遺品、時間をキーワードに、かたちあるものがなくなっても残る、そして現在、未来につながる身体の記憶と生の記憶を写真とともに考えます。

石内都：写真家。1947年、群馬県に生れ、横須賀に育つ。'79年、第4回木村伊兵衛賞。'99年、第15回東川賞国内作家賞。'06年、日本写真協会賞作家賞。個展、グループ展多数。'05年、「mother's 2000-2005 未来の刻印」で、ヴェネツィア・ビエンナーレに出展。'09年、写真集『ひろしま』と「ひろしま　Strings of Time」（広島市現代美術館）展により、第50回毎日芸術賞を受賞。

15:30〜17:30　分科会　キャンパス外の会場へ移動しての分科会（選択制）

A「大学地域連携によるコミュニティの居場所」

会場：芝の家（地図2）

「場」づくりを通して多世代多文化の交流を育む、大学と地域の新しい連携のかたち。「ソノツギ」、「大正さろん」、「芝の家」で、当事者として地域に参加する教員や学生とともに、ケアとアート、コミュニティと大学がシームレスにつながりゆく現場のいろいろを考えます。

発表者（予定）：陣内雄次（宇都宮大学教授）＆コミュニティカフェ「ソノツギ」スタッフ、弓山達也（大正大学教授）＆山本陵（大正さろんスタッフ）、「芝の家」スタッフほか
コーディネイター：坂倉杏介（慶應義塾大学教養研究センター講師）

B「障害とか性とか」

会場：芝コミュニティはうす（地図3）

いろいろな障害、いろいろな性／セックスが交差する場所はそれこそいろいろです。障害と性を活動目標にするNPOノワールが主催する障害者のセクシュアリティに関するコンテストに審査員として参加している方々を招き（当日別の会場で選考作業をしています）、多様な性の証言者になってもらいたいと思います。

発表者（予定）：熊篠慶彦（NPO法人ノワール理事）、河合香織（ノンフィクションライター『セックスボランティア』著者）、森山風歩（作家、モデル）、高嶺格（美術作家）ほか
コーディネイター：岡原正幸（慶應義塾大学文学部教授）

オープン・トーク＆ワークショップ

C「アートとケアが出会う場」

保育園･児童館･高齢者施設へアートをお届け：アートデリバリー

会場：芝コミュニティはうす（地図3）

「アートで介護」「アートで保育」「アートで学ぶ」をモットーに、アーティストと共に保育園・児童館・高齢者施設へ出かけ、創造の時間を共有する「アート・デリバリー」はARDAがメインとする活動です。アーティストが子ども、お年寄りと向き合った時、どんな変化がみられるのでしょう。この活動を実践するなかで見えてきたことをアーティスト、コーディネーター、受け入れ施設、等の立場からオープン・トークを行います。体験ワークショップもてきます。

発表者：新井英夫　（ダンサー、体奏家）、三ツ木紀英　（アート・コーディネーター：港区「ふれあいアート」担当、NPO法人ARDA理事）、藤山邦子　（特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺施設長）
コーディネイター：並河恵美子（NPO法人芸術資源開発機構ARDA代表）

日本ボランティア学会ジョイントセッション

D「澱みの思想：路上の流れに竿をさす」

会場：三田の家（地図4）

上野アメ横の魚屋、大阪釜ヶ崎のメディアセンタースタッフ、東京周辺の路上に出没するアーティスト。忙しなく人が行き交う街の隙間で、流れに竿をさし、淀みをつくり、人と人、人と時間・空間とを結ぶ3人。彼らと共に、交わりの場としての路上を再考します。

発表者：岩楯磨州（上野アメ横 特殊魚屋）、原田麻以（NPO法人こえとことばとこころの部屋、カマン！メディアセンター担当スタッフ）、仮屋崎健（こまどり社主、芸術家）
コーディネイター：猪瀬浩平（日本ボランティア学会運営委員、見沼・風の学校、明治学院大学専任講師）

※会場は予定です。参加人数によって変更する場合があります。

18:00〜19:30　交流会　慶應義塾大学三田キャンパス内で予定（参加費は別途）

12月6日（日）

会場：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階G-secラボ

9:30〜10:00　開場／受付

10:00〜12:00　プレゼンテーション　応募者による研究発表、実践報告

発表者募集

○応募資格
会員、未会員にかかわらず、どなたでも応募できます。関心のある方は事務局までお問い合わせください。

○エントリー方法、期限
募集要項をウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入のうえ、10月31日（土）までにエントリーしてください。ウェブサイト：http://artmeetscare.seesaa.net/

13:00〜13:30　アートミーツケア学会2009年度総会

13:30〜14:00　コンサート　**「うたの住む家　論文発表会」**

「三田の家」を舞台に続けられている、どんな人でも参加ができるうたづくりのワークショップ「うたの住む家」が、小さなコンサートを開催します。

発表者：即興からめーる団、うたの住む家実行委員会

14:15〜16:00　分科会報告　学生スタッフによる、前日の分科会レポート

ダイアローグ　**「生活のなかのアート、アートのなかの生活」**

鷲田清一 × 熊倉敬聡

Art of living—生きることそのものをアートと捉えてみる。すると、今ここに生きているという事実が、今までと違った光彩を放ちはじめるのではないでしょうか。そこから、改めてアートとケアについて共に考えてみたいと思います。

鷲田清一：大阪大学総長。1949年生まれ。京都大学大学院博士課程修了。臨床哲学、現象額。主著に、『モードの迷宮』、『現象学の視線』、『「聴く」ことの力』など。04年、紫綬褒章受賞。

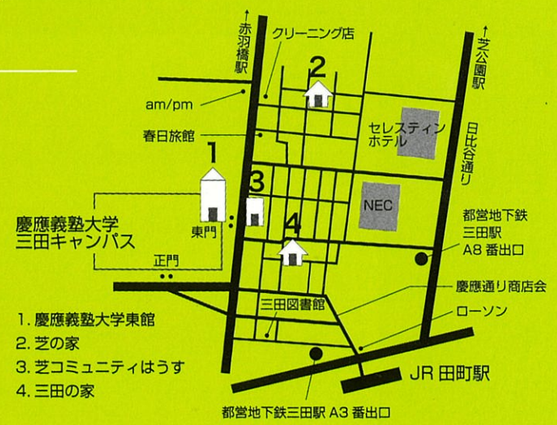
熊倉敬聡：慶應義塾大学理工学部教授。1959年生まれ。パリ第7大学博士課程修了。文化実践論、仏文学。主著に、『美学特殊C—「芸術」をひらく、「教育」をひらく』、『脱芸術／脱資本主義論』ほか。

16:00　閉会

会場案内

1　メイン会場／受付：慶應義塾大学三田キャンパス東館6階G-Secラボ
〒108-8345　東京都港区三田2-15-45
JR田町駅、都営三田線・浅草線三田駅、大江戸線赤羽橋駅より徒歩10分

分科会は、キャンパス周辺のさまざまな「場」で行われます。「芝の家」は慶應義塾大学との連携で運営される港区のコミュニティ事業拠点。「三田の家」は三田商店街と大学有志がつくる「家」。「芝コミュニティはうす」は、今年開設された港区による地域連携活動のスペースです。



※当日のご連絡は、芝の家（Tel.03-3453-0474）まで。

参加申込方法

以下の手順で手続きをお願いいたします。

1. 参加費をご入金ください。
郵便局の郵便振替をご利用ください。払込用紙の通信欄には「振込内容（内訳）」をご記入ください。
払込用紙の受領票をもって領収証に代えさせていただきます。振込み手数料はご負担願います。

■口座記号・番号　00920-4-252135　　加入者名　アートミーツケア学会

2. 下記の申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ、学会事務局もしくは芝の家まで E-mail または Fax にてお申し込みください。ウェブ上でも受け付けております。

3. お申し込み完了となります。当日は受付でお名前をお知らせください。

■申し込み期限　**11 月 28 日（土）**　　定員 150 人になりしだい、締め切ります。

＊いったんご入金いただいた参加費は、原則としてご返金いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

参加費	一般（学会員）	学生（学会員）
1 日のみ参加	2,000 円（1,500 円）	1,500 円（1,000 円）
両日参加	3,000 円（2,000 円）	2,000 円（1,500 円）
交流会	2,500 円（事前にお申し込みください。）	

※学会員以外のみなさまもご参加いただけます。　※分科会のみの参加は無料です。

お問い合わせ・お申し込み先

■アートミーツケア学会［事務局］　〒630-8044　奈良市六条西 3-25-4　財団法人たんぽぽの家内
Tel.0742-43-7055　Fax.0742-49-5501　E-mail.art-care@popo.or.jp
URL. http://artmeetscare.seesaa.net/

■芝の家［東京事務局］　〒105-0014 港区芝 3-26-10　Tel/Fax.03-3453-0474
URL. http://www.shibanoie.net/　　※当日のご連絡は、芝の家までお願いいたします。

アートミーツケア学会のご案内

人間の生命、ケアにおけるアートの役割を研究する場として、またアートの力をいかしてくためのネットワークとして、2006 年に設立しました。ぜひご入会いただき、研究や活動にご参加ください。

【会長】
鷲田清一（大阪大学総長）
【副会長】
畑祥雄（関西学院大学教授）
【常務理事】
播磨靖夫（財団法人たんぽぽの家理事長）
【理事】
秋田光彦（浄土宗大蓮寺・應典院住職）
片井修（京都大学情報学研究科教授）
グロッセ世津子（有限会社みどりのゆび代表）
塩瀬隆之（京都大学総合博物館准教授）
関口怜子（ハート＆アート空間 Bel 代表）
ダーリング・ブルース（美術史家）
銅金裕司（メディアアーティスト）
鳥海直美（四天王寺大学人文社会学部人間福祉学科准教授）
中川真（大阪市立大学大学院文学研究科教授）
並河恵美子（NPO 法人芸術資源開発機構代表）
本間直樹（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター／大学院文学研究科准教授）
的場政樹（医療法人直志会袋田病院院長）
見寺貞子（神戸芸術工科大学教授）
森口ゆたか（NPO 法人アーツ・プロジェクト代表）
森田ゆかり（金城大学短期大学部講師）
山口悦子（大阪市立大学医学部附属病院安全管理対策室専任医師）
横川善正（金沢美術工芸大学教授）

申込フォーム

ふりがな 名　前	所属等
参加区分	□一般未会員　□一般会員　□学生未会員　□学生会員
参加日程	□両日参加　□12/5 のみ参加　□12/6 のみ参加　□交流会に参加
参加費合計	円　希望する分科会　□A　□B　□C　□D
ご連絡先	Tel.　Fax. E-mali.
通信欄	